

Feb. 26. 2019

第17回 メディカルスタッフのための感染対策セミナー

# 北九州地域の耐性菌 分離動向

北九州市立八幡病院 臨床検査技術課

有馬 純徳

# おもな薬剤耐性菌

- MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)
- VRE (バンコマイシン耐性腸球菌)
- ESBL (基質特異性拡張型 $\beta$ -ラクタマーゼ (産生菌))
- CRE (カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)
- MDRP (多剤耐性緑膿菌)
- MDRA (多剤耐性アシネトバクター)

多剤耐性菌がほとんど

# 多剤耐性菌とは

- ・(様々なタイプの)抗菌薬が効かない

**接触感染対策が重要！！**

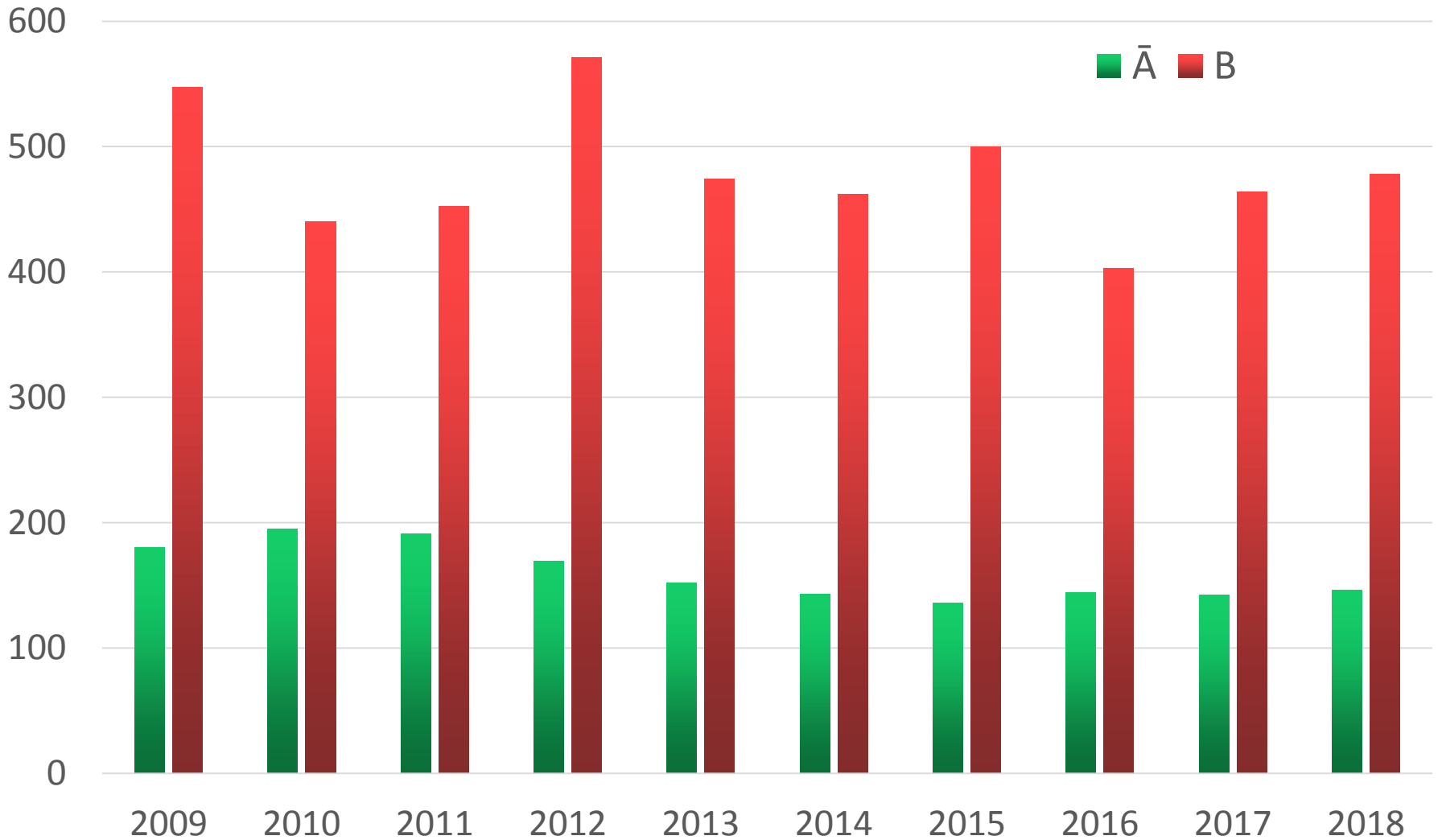
- ・抵抗力(免疫力)の低下した人に感染すると危険な状況になる可能性あり

→小児・高齢者、重症な火傷、ステロイド投与、がん治療  
カテーテル等の挿入、摘脾、肝硬変、妊婦、etc

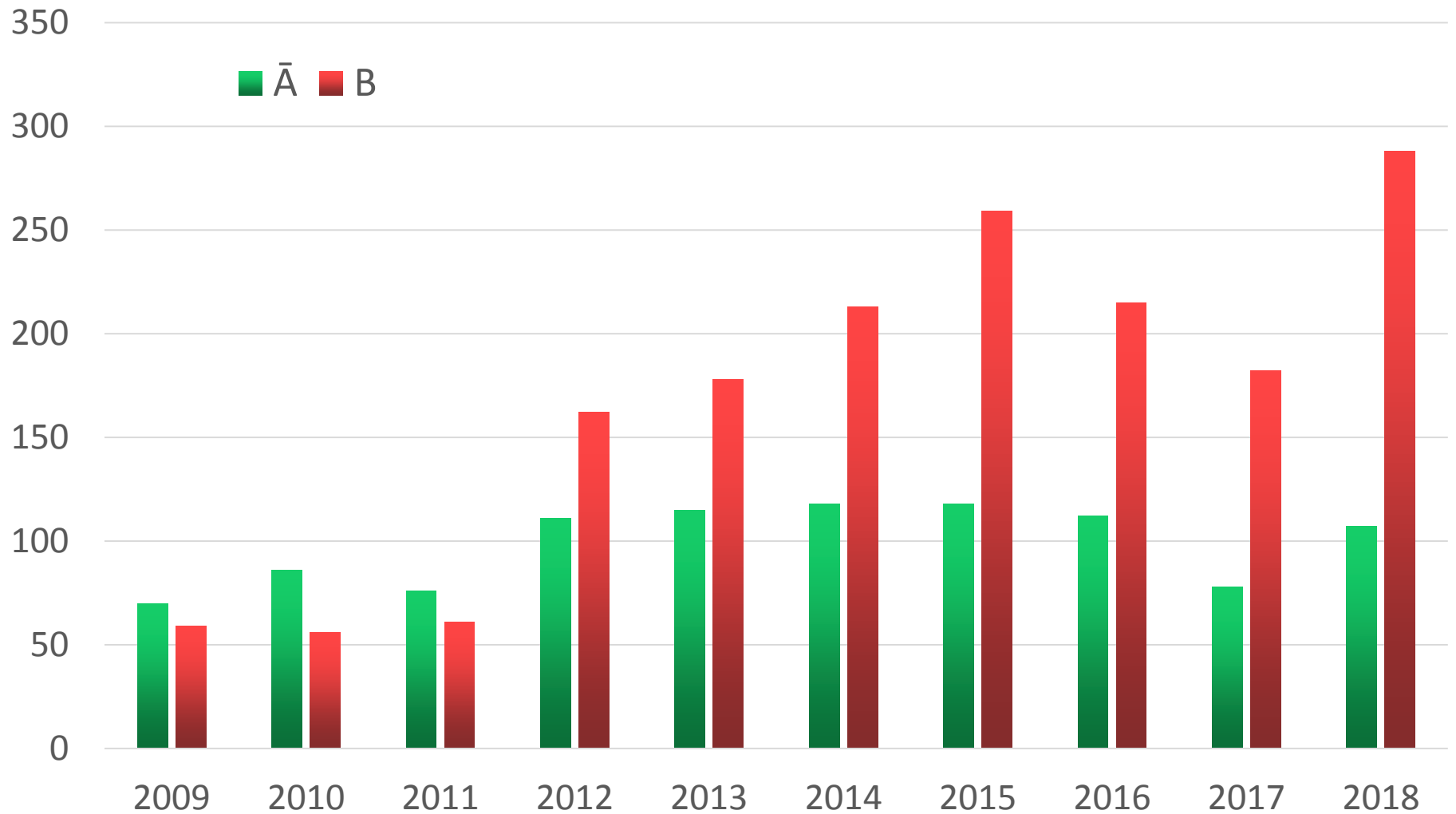
# 地域内施設を動き回る



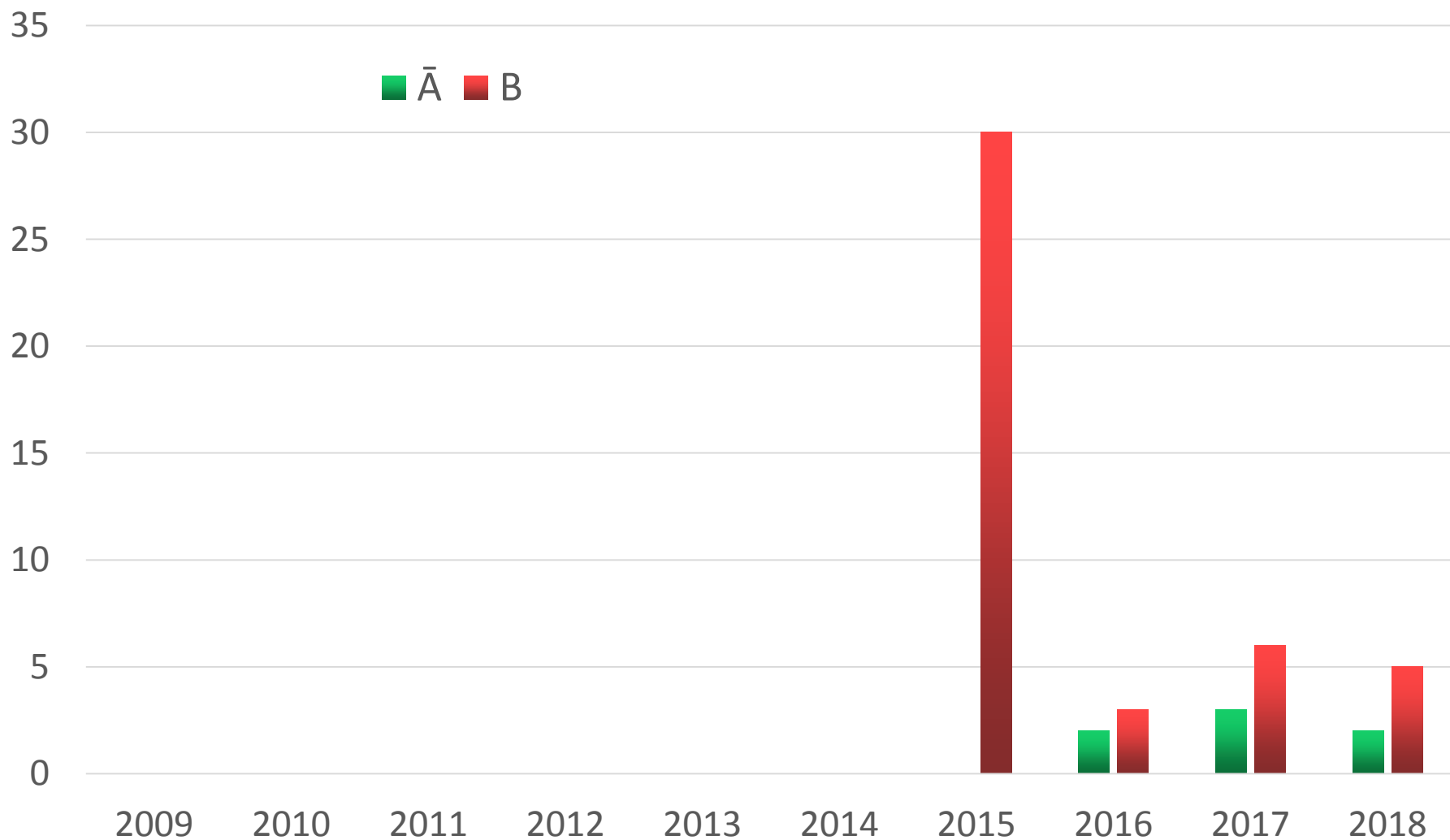
# MRSA検出患者の推移



# ESBL産生菌検出患者の推移



# CRE検出患者の推移

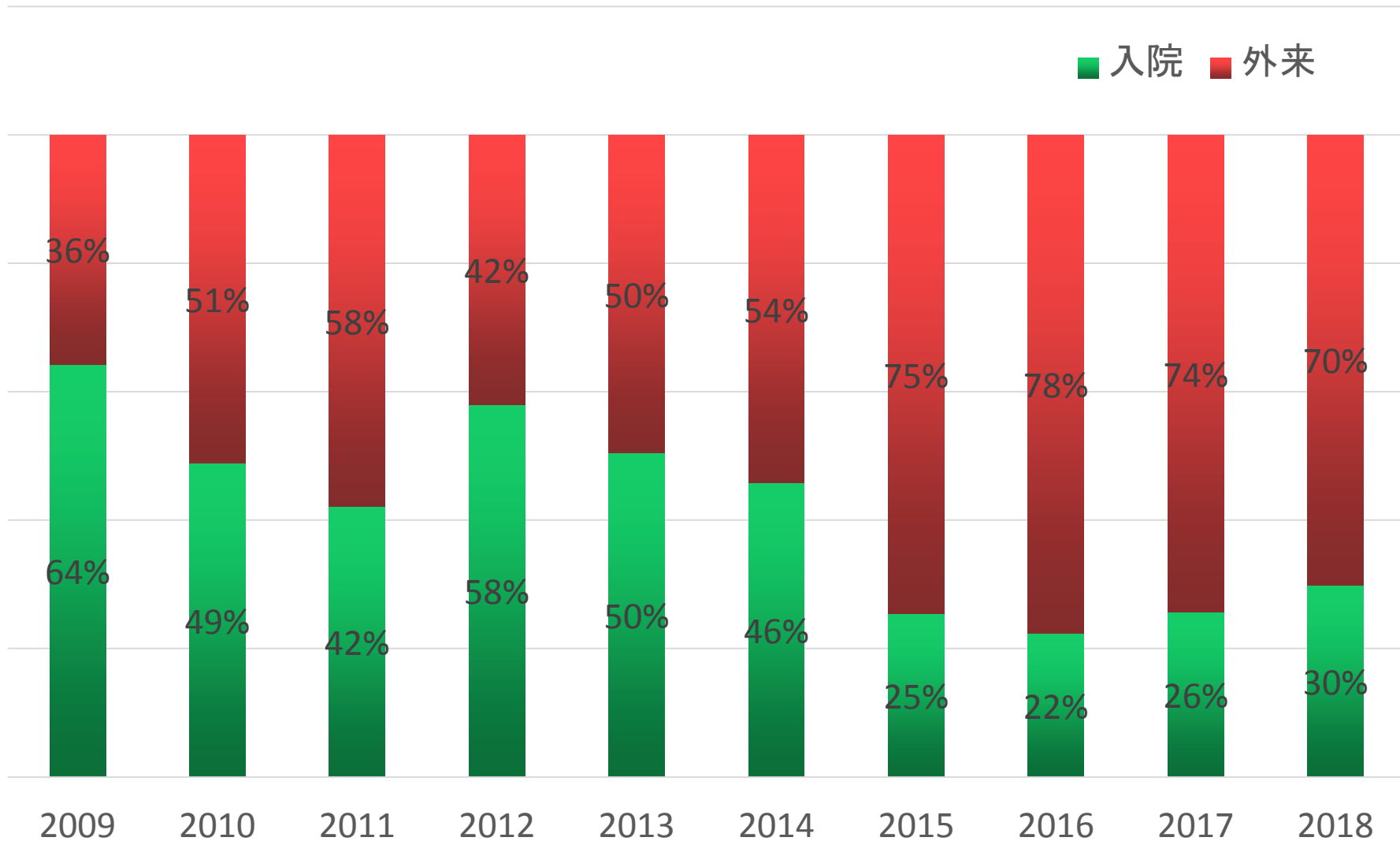


# MRSA検出患者の推移





# ESBL産生菌検出患者の推移



# まとめ

## 【MRSA】

ほとんど増減なく定常化している

外来患者からの検出が増加して  
おり市中に定着している

# まとめ

## 【ESBL】

施設により時期は異なるがここ数年でその数は定常化している

MRSA同様、外来からの検出が増加しており市中に定着していると言える

# まとめ

## 【CRE】

まだ検出患者は少ないが今後増加する可能性がある

# まとめ

抗菌薬による治療が行われるか  
ぎり薬剤耐性菌が無くなることは  
ない

正しい標準予防策および  
接触感染対策を行うことで拡散を  
防ぐことが可能である

**接触感染対策が重要！！**